

保護者・地域のみなさま

教育みらい創造室だより

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成と 日本社会に根差したウェルビーイングの実現

◇令和7年度の大牟田市教育委員会の重点事業◇

《学校再編整備推進事業》

大牟田市における SDGs の重点

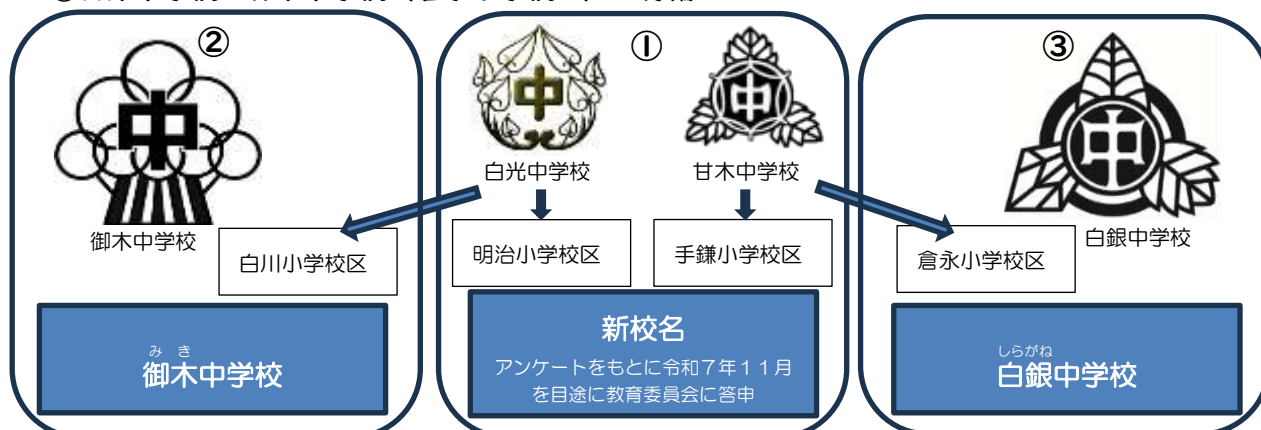


☆目的☆

市立学校においては、児童生徒数の減少により複式学級編制への対応や学習活動への特別な工夫を要する小規模校が増加するなど、解決すべき課題が生じています。長期的展望に立ち、責任ある教育行政を確保するため、適正規模・適正配置の観点から学校再編整備を行うことにより、各学校におけるクラス替えの実施、中学校の教科指導体制の充実、部活動の活性化など、児童生徒の教育環境の向上を目指します。

令和元年11月に策定した「[大牟田市立学校適正規模・適正配置計画 第2期実施計画](#)」(外部リンク)に基づく市立中学校再編の第2段階として、令和7年4月1日からは、下のようになります。

- ① 白光中学校(明治小学校区)と甘木中学校(手鎌小学校区)を再編 / (外部リンク)
- ② 御木中学校と白光中学校(白川小学校区)を再編
- ③ 白銀中学校と甘木中学校(倉永小学校区)を再編



※令和7年4月からは、宅峰中学校、宮原中学校、松原中学校を含め、市内6中学校となります。

市立学校では、夏休み中の出校日に平和学習を実施しました！ 詳しくは、各学校のHPへ



みなと小学校 今年もアリスの会の方々が学年に応じて平和にちなんだ本の読み聞かせをしてくださいました。



高取小学校 戦争についての動画を見たり、話を聞いたりして、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考えました。さらに、6年生が修学旅行で学んだことを各学級で発表し、戦争の悲惨さを伝えました。



宅峰中学校

平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐ活動をされている市内在住の松井さんにご協力・ご指導をいただき、平和授業(命の紙芝居)を行いました。(写真左上は、「子どもたちの疎開」を朗読する3年生)

「誰一人取り残さない教育」
一人ひとりが安心して学べる学校を
みんなでつくっていきましょう！



問合せ先



大牟田市教育委員会



大牟田市教育委員会 総務課
教育みらい創造室 指導主事

白光中学校 [命の紙芝居朗読と、平和へのメッセージ | YouTube 動画](#) (令和5年度撮影)

様々な関係者とのつながりを生かして学習を進めています！



大牟田市では、人権感覚の豊かな子どもを育てるために人権学習会や人権・同和教育研究実践交流会を開催したり、各学校で工夫をしながら人権・同和教育カリキュラムの授業を実施したりしています。



中友小学校 7月の全校朝会で横山校長先生の「すべての人の人権（幸せに生きる権利）を守ろう！」という話を受け、みんなで友だちを大切にする「ふわふわ言葉」をたくさん使い、自分の気持ちを伝え合っていくことを確認しました。



白光中学校 1年生の総合的な学習の時間に、国立療養所菊池恵楓園から境園長をお招きし、ハンセン病についての正しい知識、人権問題につながる差別や偏見について学びました。



倉永小学校 4年生の道德の時間に、人権・同和教育カリキュラムの検証授業を行いました。車いすで町を移動する中で段差の不便さを感じる主人公が、その解消をめざし、どんなことを考え、どのような行動をとったのかをみんなで考えました。

令和7年度人権学習会（外部リンク）

※6月27日三川地区公民館の分は、すでに終了しています。

第29回大牟田市人権・同和教育研究実践交流会

8月5日 大牟田市文化会館にて、福岡大学人文学部教育・臨床心理学教授の添田先生をお招きし、実践交流会を実施しました。

児童生徒が安心・安全に生活するために、通学路の危険箇所について調べています！



羽山台小学校 1年生が5月の生活科の学習で通学路探検を行いました。この学習を安全に行うために、地域の方々に一緒に歩いていただき、地域にある施設の説明もしていただきました。



天の原小学校 3年生が5月の防災教室の中で防災危機管理室の方に、大雨や地震が発生した時に危険になる所を教えてもらい、最後に校区の危険箇所を探して回りました。



御木中学校 1年生が自転車の交通安全対策の一環として、御木中校区のヒヤリハットマップの作成に取り組んでいます。

モビリティジャーナリストの楠田さんをファシリテーターとし、県庁や南筑後県土整備事務所、福岡県警、大牟田警察署、大牟田市建築住宅課などから10数名の方に生徒をサポートしていただきました。

7月3日、生徒たちは、小学校校区ごとにグループに分かれ、危険を感じた箇所を地図にマーキングし、その理由を付箋に書き込み、発表しました。

7月10日、作成した自分の通学路でのヒヤリハットマップを用いて、危険箇所を共有し、自分たちにできる安全対策について話し合いました。

これらを集約して完成させたヒヤリハットマップを、全校生徒や地域住民に配布する予定です。

